



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月22日

会社名 三国商事株式会社 グリーンシート銘柄  
 コード番号 8062 URL <http://www.mikunishoji.co.jp/>  
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）井上 純吉  
 問合せ先責任者（役職名）総務部長（氏名）下村 定 (TEL) (03)3438-1021  
 半期報告書提出予定日 平成25年12月25日  
 半期決算取締役会開催日 平成25年11月22日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

### (1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	13,498	19.7	45	35.7	21	△1.8	43	—
25年3月期第2四半期	11,279	0.3	33	△41.1	22	△53.8	△14	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 118百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.26	—
25年3月期第2四半期	△2.41	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	9,264	1,694	17.9	276.86
25年3月期	9,112	1,640	17.3	263.19

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,655百万円 25年3月期 1,573百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	27,000	16.1	40	—	30	—	5.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	6,000,000株	25年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式	26年3月期2Q	21,183株	25年3月期	20,517株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	5,979,150株	25年3月期2Q	5,980,816株

#### （参考）個別業績の概要

##### 1. 平成26年3月期第2四半期の個別業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,816	△5.3	23	△23.9	28	△54.2	28	36.1
25年3月期第2四半期	9,306	△1.3	30	△14.9	62	116.3	21	65.1

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
26年3月期第2四半期	4.81
25年3月期第2四半期	3.53

##### (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,058	1,617	22.9	270.50
25年3月期	7,334	1,572	21.4	262.96

（参考）自己資本 26年3月期第2四半期 1,617百万円 25年3月期 1,572百万円

##### 2. 平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	17,400	△4.3	40	△57.0	30	1,400.0	5.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に円安・株価回復が進み、企業業績や個人消費に改善の動きが見られ、一部の市場に需要の増加が見られる一方、円安による原材料価格の高騰や海外市場の不透明感といった懸念材料も多く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下でありまして、当社グループは、持続的成長への基盤確立に向けて、新規顧客の開拓及び既存顧客との関係強化に取り組むとともに海外取引の拡大を積極的に推進してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,498百万円（前年同四半期比2,218百万円の増加）、売上総利益は895百万円（前年同四半期比40百万円の増加）、営業利益は45百万円（前年同四半期比12百万円の増加）、経常利益は21百万円（前年同四半期並み）となり、四半期純利益は負ののれん発生益23百万円を計上した結果43百万円（前年同四半期は14百万円の純損失）となりました。

以下、報告セグメントごとに業績の概況をご報告いたします。各セグメントの売上高は、相殺後売上高を記載しております。

#### ①金属事業

電力会社向けトランス用材や車載用EPSモーター用途の電磁鋼板等は、好調に推移いたしました。主力の表面処理鋼板は、浴室用壁材向けは売上が伸長したものの、ゲーム機向け表面処理鋼板が最終顧客の製品販売不振により売上が減少いたしました。また、電磁鋼板以外の車載向けの部材も採用製品の一部機種終息に伴う需要減等により売上が減少いたしました。この結果、売上高は1,814百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

#### ②電線事業

巻線につきましては重電向けが堅調に推移いたしました。自動車向けは一部機種終息に伴う需要減少により大幅に売上が減少いたしました。また、機器用電線は民生用電気機器向けが低調に推移いたしました。一方、遊技機向けは夏場に需要が拡大したため前年同四半期の売上を維持いたしました。一方、海外からの輸入材料はLED照明が前年同四半期並みの売上でしたが、アルカリ電池用電池缶及びリチウムイオン電池用正極材が大幅に増加いたしました。この結果、売上高は3,597百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

#### ③化成品事業

主力の配線板用銅張積層板は、車載、アミューズ、産業機械が堅調に推移したものの、家電等の民生向けは依然として低調に推移いたしました。半導体関連は、パッケージ用材料がスマホ向け新規材料の立上が遅れたため前年同四半期並みの売上にとどまりました。一方、レーザ半導体用基板は、顧客の在庫調整の終了やスポット受注等もあり大きく売上が回復いたしました。また、新たにLED照明用部材の輸入販売等も開始いたしました。この結果、売上高は2,847百万円（前年同四半期比2.0%増）となりました。

#### ④海外

円安により一部に収益悪化の影響がありましたものの、白物家電用が堅調に推移し、LED照明関連及びLEDバックライト関連も順調に推移いたしました。また、大型液晶パネル販売が立ち上がり、売上増に貢献いたしました。この結果、売上高は5,238百万円（前年同四半期比103.5%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は9,264百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。主に現金及び預金が減少し、受取手形及び売掛金が増加し、流動資産が90百万円増加したことによるものであります。

負債は7,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加いたしました。主に支払手形及び買掛金が減少し、長短借入金が増加したことによるものであります。

純資産は1,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。四半期純利益に加え、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、772百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、742百万円となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、23百万円となりました。これは主に関係会社株式の取得による支出によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は486百万円となりました。これは主に銀行借入金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、円高是正の効果や株価の上昇等により景気は引き続き緩やかに回復するものと期待されますが、海外経済の下振れリスクや来春の消費税増税による消費マインドの低下等、依然として不透明な経営環境が続くものと予想されます。

このような状況下にあります。当社グループは成長事業分野へ積極的に参入し新たなビジネスモデルの確立を目指すとともに、中国及び東南アジア市場において、海外子会社との連携によりこれまで以上にグローバル展開を強力に推進してまいります。下半期も厳しい事業環境が予想されますが、全社を挙げて業績の向上及び収益の改善に取り組んでまいり所存であります。

なお、通期の業績予想につきましては、本日（平成25年11月22日）公表いたしました「平成26年3月期第2四半期及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,004,548	772,520
受取手形及び売掛金	5,236,160	5,574,959
電子記録債権	1,017,920	877,354
商品及び製品	1,016,846	891,625
繰延税金資産	31,328	29,900
未収還付法人税等	459	—
その他	212,622	464,684
貸倒引当金	△21,633	△22,047
流動資産合計	8,498,253	8,588,998
固定資産		
有形固定資産	314,071	320,634
無形固定資産	11,362	10,401
投資その他の資産		
その他	334,323	390,888
貸倒引当金	△46,000	△46,000
投資その他の資産合計	288,323	344,888
固定資産合計	613,757	675,924
資産合計	9,112,010	9,264,922
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,838,394	3,298,263
短期借入金	2,585,077	3,145,071
未払法人税等	12,744	20,153
役員賞与引当金	10,000	5,000
その他	238,378	174,190
流動負債合計	6,684,594	6,642,678
固定負債		
長期借入金	565,688	696,672
退職給付引当金	110,584	105,596
役員退職慰労引当金	59,790	67,020
繰延税金負債	48,686	45,450
その他	1,907	13,359
固定負債合計	786,656	928,098
負債合計	7,471,251	7,570,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	1,333	1,333
利益剰余金	1,228,338	1,247,838
自己株式	△3,108	△3,171
株主資本合計	1,576,563	1,596,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,034	78,174
為替換算調整勘定	△40,829	△18,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
その他の包括利益累計額合計	△2,795	59,305
少数株主持分	66,991	38,839
純資産合計	1,640,759	1,694,145
負債純資産合計	9,112,010	9,264,922

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	11,279,433	13,498,015
売上原価	10,424,824	12,602,943
売上総利益	854,609	895,071
販売費及び一般管理費	820,939	849,376
営業利益	33,669	45,695
営業外収益		
受取利息	15,951	13,914
受取配当金	3,048	1,763
為替差益	—	2,237
雑収入	6,989	6,764
営業外収益合計	25,989	24,679
営業外費用		
支払利息	18,181	24,341
手形売却損	4,286	3,698
為替差損	3,553	—
雑損失	11,421	20,527
営業外費用合計	37,442	48,567
経常利益	22,216	21,807
特別利益		
負ののれん発生益	—	23,525
特別利益合計	—	23,525
特別損失		
投資有価証券評価損	25,662	—
特別損失合計	25,662	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,445	45,333
法人税、住民税及び事業税	6,456	10,738
法人税等調整額	7,141	△13,233
法人税等合計	13,597	△2,495
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,043	47,828
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,629	4,409
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,413	43,418



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△17,043	47,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,905	40,139
為替換算調整勘定	1,926	30,178
その他の包括利益合計	△21,979	70,318
四半期包括利益	△39,022	118,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,782	105,518
少数株主に係る四半期包括利益	△2,239	12,627

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,445	45,333
減価償却費	6,135	7,806
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△216	△854
受取利息及び受取配当金	△18,999	△15,677
支払利息	18,181	24,341
売上債権の増減額(△は増加)	△620,642	47,258
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,590	181,302
仕入債務の増減額(△は減少)	43,399	△778,992
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,640	7,230
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,000	△5,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△537	△4,988
負ののれん発生益	—	△23,525
投資有価証券評価損益(△は益)	25,662	—
その他	△29,142	△214,051
小計	△613,835	△729,819
利息及び配当金の受取額	19,091	15,661
利息の支払額	△18,300	△24,819
法人税等の支払額	△14,849	△3,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	△627,894	△742,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,859	△2,610
無形固定資産の取得による支出	△7,200	—
投資有価証券の取得による支出	△5,209	△4,967
関係会社株式の取得による支出	—	△12,649
貸付金の回収による収入	436	418
貸付けによる支出	—	△2,000
その他	1,258	△1,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,574	△23,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△11,998	502,274
長期借入れによる収入	241,853	93,854
長期借入金の返済による支出	—	△93,854
配当金の支払額	△29,622	△22,801
その他	△175	7,039
財務活動によるキャッシュ・フロー	200,057	486,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,434	47,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△446,846	△232,027
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,480	1,004,548
現金及び現金同等物の四半期末残高	733,634	772,520

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

①前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日 本			海外	計		
	金属事業	電線事業	化成品事業				
売上高							
外部顧客への売上高	2,172,104	3,741,199	2,792,523	2,573,606	11,279,433	—	11,279,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169,328	175,449	255,559	1,184,339	1,784,677	△1,784,677	—
計	2,341,433	3,916,649	3,048,083	3,757,945	13,064,111	△1,784,677	11,279,433
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△12,944	2,468	41,751	△743	30,531	3,138	33,669

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額3,138千円には、セグメント間振替高3,974千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△835千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日 本			海外	計		
	金属事業	電線事業	化成品事業				
売上高							
外部顧客への売上高	1,814,073	3,597,628	2,847,801	5,238,511	13,498,015	—	13,498,015
セグメント間の内部 売上高又は振替高	101,686	229,418	225,402	1,351,586	1,908,093	△1,908,093	—
計	1,915,760	3,827,047	3,073,203	6,590,097	15,406,108	△1,908,093	13,498,015
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△20,599	28,909	11,810	15,196	35,317	10,378	45,695

- (注) 1 セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額10,378千円には、セグメント間振替高7,323千円、各報告セグメントに配分していない全社費用3,054千円が含まれております。
- 2 セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。